

CASBEE 広島 2016年版
S-RESIDENCE 国泰寺二丁目

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.7
Q1 室内環境					0.40		-		3.0
1 音環境				4.0	0.15	3.4	1.00		3.5
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音				5.0	0.50	3.9	0.50		
1 開口部遮音性能		遮音性能:T-2		5.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能		コンクリート界壁厚180以上、乾式耐火間遮音壁Dr=50			-	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		床仕上げ材Lr=45			-	4.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	2.0	0.20		
1.3 吸音					-				
2 温熱環境				2.0	0.35	2.0	1.00		2.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温				3.0	0.63	3.0	0.63		
2 外皮性能				3.0	0.38	3.0	0.38		
3 ゾーン別制御性					-				
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20		
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30		
3 光・視環境				3.2	0.25	3.2	1.00		3.2
3.1 昼光利用				3.0	0.30	2.4	0.50		
1 昼光率				3.0	0.60	3.0	0.50		
2 方位別開口					-	1.0	0.30		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.50		
1 昼光制御		住居:カーテンレールと庇によりグレアを制御		2.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御		共用部:タイムスケジュール制御を採用		5.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				4.0	0.25	3.8	1.00		3.8
4.1 発生源対策				4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		ほぼ全的にF☆☆☆☆を採用		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				4.0	0.40	3.6	0.38		
1 換気量		共用部・住居:必要換気量×1.4≦設計換気量		5.0	0.50	5.0	0.33		
2 自然換気性能					-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理					-				
1 CO ₂ の監視					-				
2 喫煙の制御					-				
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		2.6
1 機能性				1.7	0.40	2.6	1.00		2.4
1.1 機能性・使いやすさ				1.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性					-				
2 高度情報通信設備対応					-	3.0	1.00		
3 バリアフリー計画				1.0	1.00				
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観					-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース					-				
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				3.5	0.30				
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い床・壁材の採用等		4.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50				
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30				2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.30				
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		長尺塩ビシート(床:20年)、ビニルクロス貼(壁:20年、天井:30年)採用		4.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要用途上位3種の2種以上にB以上を使用、Eは不使用		5.0	0.20				
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20				
2.4 信頼性				2.4	0.20				
1 空調・換気設備				3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20				
3 電気設備				3.0	0.20				
4 機械・配管支持方法				1.0	0.20				
5 通信・情報設備				3.0	0.20				

3 対応性・更新性			2.8	0.30	2.6	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり			-	-	2.2	0.50	
1 階高のゆとり			-	-	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			-	-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.8	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			2.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.6
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		景観条例の基準を満足し、植栽を設けるなど配慮している	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]: 1.00	3.0	0.50	-	-	3.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		高炉セメント(コンクリート)	5.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		押出法ポリスチレンフォーム、再生クラッシュヤラン、パーク堆肥	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材が容易に分別可能な工法	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		押出法ポリスチレンフォーム ODP=0、GWP=3	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率=66%	4.3	0.33	-	-	4.3
2 地域環境への配慮			2.0	0.33	-	-	2.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		フェリスの過半を満たす、広告物照明はなし	5.0	0.70	-	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	